

1 市の概要

人口	171,275 人
保護率	34.3 %

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	25.4
プラン作成件数人口10万人当 (件) 一月当たり	5.1
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	2.8
就労・増収率(%)	64.9

4 事業実績（H30年度）

利用者数	退所理由		
	就 労	生活保護	その他
35人	9人	20人	6人

※「その他」の内訳
 ・長期入院 1人
 ・無断退去 2人
 ・転居 3人

5 事業実施のポイント

下宿を改修し、共同で生活する場に！

○日常の生活支援や就労支援、債務に関する相談、生活保護相談への同行など、多角的な面からサポートをする体制の構築に取り組んでいる。

○絶望的な状況で入居する場合も多いが、共同生活を経て希望を回復し、新たな人生を再スタートしている入居者も多い。

○新たな住居や就職が決まって退去した後も、本人の状況に合わせて支援を継続している。

○シェルターの前は海が広がっており、景色が良いのもポイントである。



6 取り組んで良かったこと

一時生活支援事業を始めたことで、緊急的な対応を円滑に行えるようになり、支援の幅も増えたことが良かったと考えている。

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度契約、プロポーザル実施なし）
事業費	12,483千円（平成30年度）
理由（委託）	○NPO法人ワーカーズコープに委託をして実施。同法人は、市内でフードバンクや地域食堂、若者サポートステーション（H29年度まで）など、困窮者や社会的孤立者に対しての支援を積極的に行なっており、ホームレス支援を行なう際に、そのノウハウが生かされることを期待したため。
事業概要	○設置型シェルター（定員4名） ○支援員2名を配置。 ○直営で実施する自立相談支援事業、同一事業者に委託している家計改善支援事業、就労準備支援事業及び一時生活支援事業が事業の枠にとらわれずに、連携して支援を実施。また、同法人は、居住支援を積極的に行なっているため、相談者の希望や状況に応じて、臨機応変に対応。
課題・対応	○年齢が高ければ高いほど、集団生活に馴染めない傾向にある。例えば新しい住居を定め、仕事をしたとしても、そこで人間関係やルールに馴染めず、仕事を辞めてしまうことも多い。どのような方法が相談者にとって良い方法なのか、相談者と一緒に試行錯誤をしているところである。